

☑ キンケツショウと歯科治療 その1

今回お話ししようと考えているのは、給料日近くになって寄り道せずまっすぐに帰宅する財布の状態ではありません。「菌血症」と書いて体の中をめぐる血液中の細菌がある状態をいいます。体の中(体内)は健康な人では、細菌がない(無菌)状態になっています。

ここでおかしいと思った方はいらっしゃいませんか。口の中には細菌がいっぱいいるし、ヨーグルトを食べて腸内細菌を整えるという話を耳にします。実は口の中や胃や腸などの消化管の中は医学的に体の外なのです。食事を摂ると体にとって必要な水分や栄養分が、腸の粘膜を介して、無菌的に体内に取り込まれるというわけです。

さて話をそろそろ本筋に戻して、歯科治療を行うと菌血症を起こすことがあります。

観血的処置といって、歯を抜く、深い部分の歯石を取る、汚れている根の治療をする、歯周病の手術をする、など口の中に出血を起こすような処置では、口の中にいる細菌がその際、出血部から逆に血管の中に入り込み菌血症になることがあります。



© 銀座東芝ビル歯科医院 All rights reserved.

※掲載の記事・写真・イラストなどの無断複写・転載等を禁じます。